

「泌尿器癌の病理標本を用いた深層学習による予後予測モデルの確立」に関する研究

1. 研究の対象

- 泌尿器科でがんと診断され生検や手術をうけた患者さん
- 「尿路性器癌に対する新たな診断マーカー・治療標的分子の探索に関する研究」に同意をいただいた患者さん
- 「エンザルタミドの投与を受けている転移性去勢感受性前立腺癌（mCSPC）患者における癌ゲノムと臨床転帰の関連について検討する多施設前向き研究」に同意いただき、試料・情報の2次利用について同意をいただいた患者さん
- 同意取得時の年齢が20歳以上である患者さん

2. 研究目的・方法

転移を有する前立腺癌や去勢抵抗性癌に対しては、従来のホルモン療法に加えて、新規抗アンドロゲン剤や化学療法などの新規薬物による治療が行われるようになりました。また、腎癌や尿路上皮癌では分子標的薬、化学療法に加えて免疫療法による治療が行われています。がんに対する治療選択枝が多岐にわたるなか、個々の患者さんに最適な治療法を選択できる方法が求められています。この研究では、がんの病理標本を人工知能に深層学習させることでがんの治療法に対する予後を予測する手法を確立することを目的としています。

そこで、泌尿器科でがんの生検や手術をうける患者さんに対して、診断で用いた病理標本を提供いただくご協力をお願いしています。いただいた病理標本をデータへ変換し、人工知能に深層学習させて解析を行います。この研究は、2027年12月末まで行われます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号 等

試料：生検や手術で取り出した組織の一部

4. 外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。病理標本のデータへの変換は大阪大学で行う、もしくは病理標本を京都大学へ提供し行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者（代表機関）

大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 講師 波多野浩士

共同研究機関及び研究責任者

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 ビッグデータ医科学分野 教授 奥野
恭史

既存試料・情報の提供のみを行う機関

近畿大学 泌尿器科 藤田和利

大阪労災病院 泌尿器科 辻畑正雄

市立豊中病院 泌尿器科 三宅修

大阪急性期・総合医療センター 泌尿器科 高尾徹也

兵庫県立西宮病院 泌尿器科 岸川英史

大阪医療センター 泌尿器科 西村健作

大阪警察病院 泌尿器科 高田晋呉

市立東大阪医療センター 泌尿器科 小野豊

堺市立総合医療センター 泌尿器科 高山仁

市立池田病院 泌尿器科 中田渡 井上均

箕面市立病院 泌尿器科 高田剛

JCHO 大阪病院 泌尿器科 福原慎一郎

大阪国際がんセンター 泌尿器科 中山雅志 西村和郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、
試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方
にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出くださ
い。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

大阪国際がんセンター 泌尿器科 中山雅志

住所：大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69

連絡先：06-6945-1181